

会 議 録

会議の名称	平成29年度第4回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成30年1月22日(月) 午後1時30分開会 午後2時00分閉会
開催場所	川越市役所7階 第5委員会室
議長(委員長・会長)氏名	議長(会長):新井正司(1名)
出席者(委員)氏名(人数)	副会長:大塚淳 委員:神田賢志、谷口義治、海沼秀幸、樋口直喜、小高浩行、池浜あけみ、伊藤正子、近藤芳宏、片野広隆、上領園子、齊藤正浩、坂根裕子、松波淳也、村野昭人(15名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委員:最首洲子、坂口孝、塚越恵美子、大川敏彰(4名)
事務局職員職・氏名	環境部副部長:福田忠博(環境施設課長) 課長:富田稔(環境政策課長)、山崎茂(環境対策課長)、高橋宗人(産業廃棄物指導課)、飯野英一(資源循環推進課)、矢島英也(収集管理課) 副課長:波立浩一(資源循環推進課) 主幹:阿部秀樹(資源循環推進課) 副主幹:石川智治(資源循環推進課) 主査:加藤英也(資源循環推進課)
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1)「ごみ処理基本計画」平成28年度実績に対する点検・評価に関する報告書 (2)その他 3 その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・審議会委員名簿 ・川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編平成28年度実績に対する点検・評価に関する報告書 ・平成28年度清掃事業概要(統計編) ・事業系ごみ処理ガイド ・川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(貸出用) ・川越市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例(貸出用)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会 (資源循環推進課副課長)	<p>定刻となりました。只今より平成29年度第4回川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は20名の委員のうち、16名の委員にご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に資料を確認させていただきます。(資料確認)</p> <p>それでは本審議会会長であります新井会長より開会のごあいさつをいただきます。</p>
会 長	<p>【挨拶】会長挨拶</p>
司 会	<p>議事に入る前に、委員の変更のご報告を申し上げます。委員選出をお願いしております公益社団法人全国都市清掃会議の福島委員退任により新たに大川委員に委嘱をしております。なお本日は所用によりご欠席であります。</p>
司 会	<p>本日は、傍聴者はありません。</p> <p>それでは、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定に基づき、新井会長に議長になっていただき、議事を進めていただきたいと思います。</p>
議 長	<p>それでは、只今から、議長を務めさせていただきます。皆さまのご協力をお願いいたします。</p> <p>報告事項(1)</p> <p>「ごみ処理基本計画」平成28年度実績に対する点検・評価に関する報告書について、事務局よりお願いします。</p>
資源循環推進課副主幹	<p>川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編平成28年度実績に対する点検・評価に関して報告させていただきます。</p>
	<p>【説明】資源循環推進課副主幹</p>
議 長	<p>只今、事務局から説明がありましたが、本件は報告事項ではありませんが、質問意見などありましたらお願いします。</p>

<p>委 員</p>	<p>昨年7月に中国が固形廃棄物の輸入禁止規制を強化しました。これにより日本から輸出していた様々なものが大分締め出しを受けている状態となっています。紙に関しては雑紙が、小型家電についてはまるっきり中国にはいかないため、湾岸地域のスクラップヤードは大分閉鎖している状態です。他のスクラップヤードでも有価でとらないし、一切取引をしない状態のため、小型家電は行き場がなくなり、市の施設に流れてくることとなります。これにより資源化率が上がることにはなるとは思いますが…。</p> <p>紙やペットボトルも中国の輸入禁止規制の対象になりますが、この規制が市の資源化率にどのくらい影響があると考えていますか。</p>
<p>資源循環推進課主幹</p>	<p>特に小型家電につきましては、事業を始めた当初に比べて大変価格が下がっております。ただ、現状では逆有償（お金を払って引き取ってもらう）には至っておりません。また、たとえ0円になったとしてもリサイクルできるのであれば、事業を継続してまいりたいと考えております。</p> <p>紙類については、そもそも全体的な紙の排出量が減少しています。これに合わせて引き取り量も減少しています。今現在10円前後で引き取りをしてもらっている状態です。こちらもまだ逆有償とまでとはなっておりませんので、資源化事業として継続してまいりたいと考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>数値目標の確認の評価です。基本的に平成28年度の実績は概ね順調ということですが、その程度がどのくらいなのかわかりにくいと思います。</p> <p>ごみの年間排出量は平成24年度の基準値を100として第1次目標年度は96、平成28年度は98.2なので順調に第1次目標年度には達成しそうです。一方、遅れ気味の最終処分量は、平成28年度は2,946tで第1次目標年度は1,000t以下ですから「難しい」といった評価です。</p> <p>今の単なる表現だと、どの政策を重点的にやるべきなのかわかりにくいです。できれば数値的な評価と、目標に向かっていっているがいまいちの達成の評価もあるので、ABCといった評価をされると、なお点検評価として妥当であるのかと思います。</p> <p>もう1点確認ですが、参考値としての事業系ごみ排出量が増えています。ごみ減量施策として増えてしまっはまずいので、減らす必要があるかと思います。ただ全体のごみ年間排出量は減っている。これ</p>

<p>資源循環推進課長</p>	<p>は、事業系が増えても家庭系が減っているの、全体としては減っている、という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>評価の部分ですが、目標年度においてABCと似たような評価も想定していましたが、毎年度ごとの評価でしたので今回は割愛させていただいた部分もあります。次年度以降検討させていただきたいと思いません。</p> <p>事業系ごみの目標値が基準値よりも増えているのご指摘ですが、当然事業系ごみも減らさなくてはならないものと考えます。家庭系ごみは減少していますが、事業系ごみは増加しています。平成32年度の目標年度は、オリンピックが開催され、その前後で経済活動が活発になりますので、ごみの排出量が増え、オリンピックの後もすぐに経済活動が収束しないとの予想の基にその目標値としております。</p> <p>全体のごみ年間排出量につきましては、ご指摘のとおり、事業系ごみは増えていますが、家庭系ごみが減っているため、全体としては減っています。</p>
<p>委員</p>	<p>今の説明の中で、景気が良くなるから、事業系ごみが増えて良いというのはどうかと思います。第1次の目標年度の設定で、いきなり増えてしまっています。せめて基準値と同じ数値でありたいと思うところです。景気が良くなるから、最初から目標値を増やしても良いというのはごみ減量施策としてどうなのかと思いますが、どのように考えていますか。</p>
<p>資源循環推進課主幹</p>	<p>事業系ごみにつきましては、極端な例で申し上げますと、大きな工業団地や事業所が入ってくれば必然的に増えてしまいます。ごみ減量施策でコントロールしていくには、いささか限界があります。</p> <p>また、事業系ごみについては家庭の消費との相関が強く、家庭の消費が増えると事業系のごみも増えるという状況がございます。そのような好景気の社会状況にあっても、可能な限りごみを減らしていくよう努めていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>目標値につきましては、本計画の策定段階において設定した数値です。何もしなければもっと増えてしまうところを、せめてこの数値以内に抑えていきたい、ということでご理解を賜りたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>清掃事業概要になります。27ページのなかのページ表記が清掃事業概要のページに対応していないかと思ますが、何のページ表記でしょうか。</p>

<p>資源循環推進課副主幹</p>	<p>元データのごみ処理統計という資料のデータを転記してしまったものです。清掃事業概要のページに対応するものではございません。削除をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかにも、細かな数値ですが、報告書の数値と清掃事業概要の数値の不一致のところもあるようですのでご確認いただければと思います。些細なところですので、差し替えまでの必要はないと思います。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>ご指摘の部分につきましては、後ほど確認させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>溶融飛灰の還元については、放射線等の影響があつて委託をしなかったという説明がありました。清掃事業概要の52ページに一覧表もありますが、いつぐらいを目途に委託を再開できるか見通しはありますか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>焼却灰の中で特に溶融飛灰については、山元還元ということで毎年「受入れてもらえるか」お話しをさせていただいておりますが、現状はできていません。また法的な関係もありますので、よく検討しなければなりません。</p> <p>東日本大震災以降受入れしてもらえていない状況が続いており、今後の見通しはまだ明らかになっていませんが、出来る限り、受け入れてもらえるよう努めてまいりたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>そういったことによって焼却灰の最終処分量が増えるといったマイナス面の影響はあるのでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>影響ということでございますが、飛灰については、民間の最終処分場に運搬し、処分させていただいている状況です。現状では大きな影響はありませんが、再資源化という意味で課題はあると認識はしており、これらを十分踏まえ検討してまいります。</p>
<p>委員</p>	<p>報告書の6ページになりますが、「家庭系ごみ有料化の推進」の課題、消費税10%実施の延長等を考慮し、今現在は有料化の実施時期ではないと判断したということですが、消費税の10%引き上げが来年の10月で決定したことで動きはあるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>現時点では、特に大きな動きはございません。</p>

委員	<p>今年度の話で恐縮ですが、事業系ごみの手数料の適正化を実施したこともありますので、そちらと関連もないのかもしれないが、家庭ごみの有料化の推進も計画の重点事項になっていますので引き続き検討をお願いしたいと思います。</p>
議長	<p>その他ご質問ございますか。 それでは、ないようでしたら、報告事項（２）その他ですが事務局何かございますか。</p>
資源循環推進課長	<p>昨年7月に当審議会から答申をいただいた事業系一般廃棄物の処分手数料について、昨年9月の定例市議会で承認されましたので、平成30年4月1日から現行の170円から220円に改定する予定です。</p> <p>昨年の議決以降、広報等を活用しPRに努めております。引き続き事業者の皆様、収集運搬業許可業者の皆様への周知・啓発に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また本日、お配りしております、事業系ごみ処理ガイドを新しく作成いたしました。作成部数については5,000部作成し、既に配布済みです。今現在、増刷を計画しており、出来上がり次第、事業者等に配布し、資源化センターの搬入窓口でも配布・啓発を行ってまいりたいと考えております。</p>
議長	<p>他に何かございますか。 特にないようですので、事務局の方、他になにかございますか。</p>
司会	<p>特にございません。</p>
議長	<p>その他、特にありませんので、これをもちまして議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
司会	<p>それでは、閉会のご挨拶を副会長よりお願いいたします。</p>
副会長	<p>【閉会】副会長閉会挨拶</p>